※この講演会は、認定ファシリティマネジャー資格登録更新講習B方式ポイント（２ポイント）対象です。

令和元年度　公共建築月間記念行事

保全技術研究会・記念講演会

■日　時・会　場　　令和元年11月21日（木）　10:30～16:45
建築会館ホール　定員200名
東京都港区芝5-26-20

■参　加　無　料　　裏面の申込方法をご覧ください。　※事前のお申込みが必要です。

■プ ロ グ ラ ム

◇保全技術研究会　　10:30～15:00

研　究　発　表　　10:40～12:00

「公共建築マネジメントの状況調査報告」（一財）建築保全センター　第二研究部主任研究員　山本　義貴
「BIMオブジェクト標準と最近の動向」　（一財）建築保全センター　第一研究部長　十河　修
「保全指導に関する最近の取組み」　国土交通省大臣官房官庁営繕部保全指導室長　伊藤　誠恭

－　昼休み　－

パネルディスカッション　　13:00～15:00

「戦略的な公共建築マネジメントの取り組み」
－公共施設等総合管理計画策定後の個別施設計画の現状と課題（その2）－

【発表】
＊事例1　施設包括管理とシンプルな公共施設マネジメント～個別施設計画の二面性を踏まえて～
明石市　総務局財務室財政健全化担当課長　松永　聡平
＊事例2　日光市公共施設マネジメント計画　実行計画の推進～合併自治体としての特徴と課題～
日光市　財務部資産経営課長　小林　岳英

【パネリスト】
飯島　健一　　小平市　教育部教育総務課課長補佐兼施設担当係長
池澤　龍三　　（一財）建築保全センター　第三研究部次長
小林　岳英　　日光市　財務部資産経営課長
松永　聡平　　明石市　総務局財務室財政健全化担当課長　　（順不同）

【コーディネーター】
山本　康友　　（一財）建築保全センター 理事・首都大学東京　都市環境学部　客員教授

◇記念講演会（「建築のレガシー」シリーズ第4回）　15:15～16:45

「時間の中の建築と前川國男の問い」　松隈　洋　　京都工芸繊維大学教授

◆交流会 17:00～18:00　於　建築会館ホール　ホワイエ　会費¥1,000（事前のお申込みが必要です。）

主　催：一般財団法人建築保全センター

後　援：国土交通省　全国知事会 全国市長会 全国町村会
協　賛：一般社団法人　公共建築協会
一般財団法人　建築コスト管理システム研究所
一般社団法人　日本建設業連合会
一般社団法人　日本建築学会
公益社団法人　日本建築士会連合会
一般社団法人　日本建築士事務所協会連合会
公益社団法人　日本ファシリティマネジメント協会

〈会場案内図〉

この保全技術研究会・記念講演会は「建築CPD情報提供制度」の認定プログラムです。
また、「認定ファシリティマネジャー（CFMJ）資格者」の「更新講習B方式ポイント対象セミナー」に認定されています。

保全技術研究会・記念講演会の概要

◆保全技術研究会（PD）「戦略的な公共建築マネジメントの取り組み」

－公共施設等総合管理計画策定後の個別施設計画の現状と課題（その2）－

現在、個別施設計画の策定が各地方公共団体で行われているが、総論賛成・各論反対と筋書きどおりに進んでいないのが現実である。次世代のために公共施設を減らす痛みを分かち合うことより、目の前の利便性や利益を主張することが多くみられているとの報告がある。また総量縮減の理論では、地方公共団体の首長にとっての魅力が失われつつあるのではないだろうか。

この課題をブレークスルーするために地方公共団体では模索中で、今回はその中からいくつかの取り組み事例を示して議論をしていただく予定であり、公共施設の関係者の皆様に大いに参考になるものと考えている。

◆記念講演会　　「時間の中の建築と前川國男の問い」

私たちの身近な生活環境をつくりあげた直接の源流であり、工業化を前提とするモダニズム建築は、それ以前の組積造や木造の建築とどのように違うのか。また、そこには、どのような課題が横たわっていたのだろうか。

ル・コルビュジエとアントニン・レーモンドに学び、戦前戦後の日本近代建築を主導した前川國男（1905～86年）は、この課題と真摯に取り組んだ建築家だった。

前川は、ヨーロッパで始まったモダニズム建築の可能性を信じて、それがより良い形で日本の気候風土や伝統と調和しながら長く存在できることを求めてさまざまな試みを続けた。

ここでは、その仕事を振り返りながら、彼が問いかけた時間の中の建築の意味について考えてみたい。

保全技術研究会・記念講演会　参加申込方法

■ 申 込 方 法

・当財団のホームページ(https://www.bmmc.or.jp)からお申込みの場合

トップページの「業務のご案内」⇒「講演会・講習会」⇒「受講申込（ボタン）」の順にクリックすると、参加申込フォームが表示されます。必要事項を入力頂き「送信（ボタン）」をクリックしてください。

・FAXでお申込みの場合

下記に記入し、 FAX:03-3553-6767 してください。

定員になり次第締め切らせていただきます。

なお、本年も会終了後に交流会を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

※お申込みを受け付けましたら　　（※当日「受講票」をご持参ください。）

①ホームページからお申込みの場合、「受講票」を送信します。

②FAXで申込みの場合、E-mailアドレス宛、或いはFAX番号宛に「受講票」を送信します。

■ 問 合 せ 先　（一財）建築保全センター　試験研修部　影山、押切　TEL:03-3553-0070

勤　務　先			
住　　所	〒（　　－　　）		
電 話 番 号		ＦＡＸ番号	
E-mailアドレス			

参 加 者 氏 名	所　　属	参加区分（○で囲む）
		・研究会・講演会・交流会
		・研究会・講演会・交流会
		・研究会・講演会・交流会